



むすび便り 2021年7月号

～野菜も草も成長の季節～

色とりどりのじゃがいもの花が咲き、夏野菜も花をつけはじめ、なんともきれいな翠色のトマトの玉が枝をしならせはじめています。「まだかなーまだかなー」と、色がつくのを楽しみながら楽しみにしています。待ちきれずに緑色で収穫している子も♪ たっぷりの雨と太陽を浴びてぐぐっと成長するこの時期、ワサワサと茂った草にギョッとしながらも、早送りの映像のように、畑の風景が日々変化していくのを楽しんでいます。

今年も6月に保育園の年中&年長さんが来て、玉ねぎをたっぷり収穫してくれました。スポスポ抜ける感覚が心地よいようで心ゆくまで収穫してくれました。1時間半ほどでぬいてくれた数千本の玉ねぎを10名近い大人たちで麻ひもで縛っていき、倉庫にズラッと吊るしました。春まで貯蔵できるありがたい作物の一つです。今年は豊作！単品販売も開始しましたので、よかったらお声がけください。(瑞恵)

農家の7月

太陽と雨でぐぐっと野菜も草も大きくなります。トマトやナスなどの夏野菜を支柱にしばったり、芽をかいたりの管理作業、大豆の種まき、キャベツや人参など秋どり野菜の種まきも。田んぼは除草作業がひと段落し、水管理の時期です。



ジャガイモの花



たっぷりの陽と雨を浴び、畑の野菜はぐんぐん育ち、実っています。ある朝、畑のあちこちがキラキラと輝いていました。近づいてみるとたくさんの雫！細い蔓にまで小さな雫がキラキラと。その中をたくさんのモンシロチョウが舞い飛び、ため息が出るほど美しい光景が広がっていました。今日もむすび畑は輝いています。(内田)



むすびの森② カメムシ

今回はカメムシ！カメムシと聞いて連想するのは、臭くて畑の葉っぱを食べる害虫でしょうか？嫌われ者のカメムシですが、実は面白い虫なので、です。日本だけで1000種類以上おり、植物の汁を吸う草食とイモムシや毛虫の体液を吸う肉食に分かれています。肉食カメムシはサシガメと呼ばれ、注射針のような口を獲物に刺します。毒はないですが、口で刺されると痛いので素手で触るのは禁物です。草食カメムシで紹介したいのが、アカスジキンカメムシです。このカメムシは森の宝石と呼ばれ、緑と赤に輝く美しいカメムシで、匂いもほぼありません！ミズキの実に集まるので畑で目にするのではなく、森で目にするのも少ないですが、この宝石を探しながら里山を散策するのも楽しいですよ^_^ (中島)

